

しおさいごども園 工事説明会 議事録

日時：平成 29 年 7 月 23 日（日）19:00～20:15

会場：潮芦屋交流センター 2階多目的室（201～203 室）

（ 磯 ） まず，社会福祉法人山善福社会理事長山本先生よりご挨拶をお願いします。

（山本理事長） 皆様こんばんは。只今紹介に与りました，社会福祉法人山善福社会理事長の山本でございます。本日は公私お忙しい中を，工事説明会にご参加頂き誠にありがとうございます。先般の説明会より早や月日が経ちまして6月30日に建築工事の入札が終わりました。今日来て頂いてます松井建設さんが工事を請ける事に決まりました。

それでは早速ではございますが説明会をさせていただきます。

平成30年4月の開園に向けてあまり日がない訳ですが，ご近隣の皆様方にも色々ご迷惑をお掛けする事もあろうかと思えます。最大限，工事に関して配慮させて頂いて建築をして参りたいと思えます。どうか，この説明会宜しくお願ひしたいと思えます。

（ 磯 ） 次に出席者の紹介をさせていただきます。

- ・社会福祉法人山善福社会 理事長 山本茂善
- ・株式会社C・E・M椎原総合設計 椎原毅
- ・株式会社C・E・M椎原総合設計 中雄佑
- ・芦屋市 こども健康部 部長 三井幸裕
- ・芦屋市 こども健康部 新制度推進課長 和泉みどり
- ・松井建設株式会社 営業部 磯郁一
- ・松井建設株式会社 現場代理人 林宏樹

以上を紹介

（ 磯 ） それでは資料2ページ目より現場代理人の林からご説明申し上げます。

（ 林 ） 改めまして，松井建設の林と申します。現場代理人としてこの工事を担当させていただきます。

それでは資料に則り説明させていただきます。

[資料2ページ目の1) 建物概要，2) 工事組織を読み上げる。]

続きまして資料3ページ目の3) 配置図，4) 概要図に地番及び建物配置を示しております。

続きまして資料4ページ目の総合仮設計画図と言われる，工事途中の仮設を示す図面です。基本的に，バス停の北西から搬入搬出を行います。敷地周囲につきましては高さ2mの万能鋼板と言われる白い板を道路面に，防風林側やミズノさん側は高さ2mの白シート貼りで囲う予定です。

続きまして資料5ページ目のA3資料です。

〔5〕しおさいこども園について を読み上げる〕

続いて最終ページのA3資料になります。

全体工期は7月24日から2月27日までとなっております。概略工程ですので多少の前後はあります。まず仮設工事としまして、仮囲及び準備工事を行いまして平行して歩道切下げ工事を行います。その完了後、基礎を造る為の掘削工事を行い、基礎躯体工事・埋戻し工事・鉄骨工事と進み、その後地上部の躯体工事・屋根工事・外壁工事があり、1月になりますと内装工事・外構工事を行い、2月末のお引渡となります。

その中での工事搬出入車両の量を右下に記載しております。真中の棒グラフが出入りする車両の量の目安です。まず多いのが、掘削工事の残土搬出のダンプで約2週間で延約200台になります。その後に多いのが基礎コンクリート打設での生コン車で約60台となります。出来上がった基礎を埋戻すのにダンプが約80台出入りします。10月初旬の鉄骨建方になると台数は減りますが、大型トレーラー等が出入りします。屋根工事等では車両の量は減っていき内装工事では4tトラックが出入りします。

搬出入経路につきましては左下に記載しております。計画場所に北方向から入って来て、北方向へ出て行きます。湾岸線高架部で右折するか、真っすぐ行って43号線に出るかというルートで現在考えております。工事の全体の説明は以上になります。

(磯) 専門用語等、多少分かりにくいところもあったかも知れませんが、皆様のご意見ご質問を賜りたいと思います。何かございましたらお願いいたします。

《以下、質疑応対》

(市 民) 社会福祉法人山善福社会から事前に住民説明会の資料のメールをいただく予定だったが、いただかなかったので、説明会に来ました。

この搬入経路については使わないように要望をしました。松井建設さんは聞いていませんか。この経路は鹿島道路さんが1日80台から100台使うので連携の中で潮風大橋が子どもの通学路になっていること、ウォーターパークの利用が多い時期でもあり、浜風大橋から搬出してほしいと理事長に伝えましたが、聞かれていませんか。このような運営者が認定こども園を運営することに遺憾に感じています。

(山本理事長) この説明会をする前に海岸通、南浜町2街区、涼風町自治会等の地元自治会の役員さんに声をかけて今日に臨みました。

お電話での連絡の中で忙しいので任せるとのことでしたので、資料がで

きた段階でメールを送らせていただくという認識をしていました。

橋の通行に関しましては、鹿島道路さんとの関係で、今のこの橋を使うよりも、浜風大橋を使ってはどうですかという意見を受けましたが、同意はしていません。その点についてはご了承いただきたいと思います。

(市 民) 松井建設さんはこの件を聞いていません。

(山本理事長) 電話で伝えています。でも通ってほしいとは言っていません。

(市 民) そのような体質で運営されるのですか。我々住民は鹿島道路さんにも涼風町自治会からの依頼で8時15分から改善していただいています。今の経路を使うにあたり、浜風大橋から進入しても特段な不都合はありません。涼風大橋からの北上よりも深江浜に出た方が効率的だし、安全面でも安心です。その点で基本的にこの経路でするのであれば総合公園を右折して、マルハチの前を通り、浜風大橋から搬出してほしいです。

鹿島道路さんは西宮浜に残土を搬出しないといけないので、安全に配慮して使うと同意して、土曜日と日曜日は使用しないと決めました。8時15分からにしていることも子どもが通学で使う道路なのでこのような経緯でしています。

理事長が言っているように、話を聞いていて、それを無視してこの経路にされていることに特別な事情はあるのでしょうか。

(林) 特別な事情はありません。山本理事長から話は聞いています。それをふまえてこの経路を採用して考えています。

(市 民) 8月末から9月上旬の2週間はかち合います。鹿島道路さんはピークです。非常に危険ではありませんか。浜風大橋に行けない理由を述べてください。

(林) 鹿島道路さんとは事前に協議しておりまして、7月いっぱい残土の搬出が終わると聞いています。

(市 民) 建物の構造についてRC造(鉄筋コンクリート造)だと聞いていました。そのように理事長も話していました。いつからS造(鉄骨造)に変わったのですか。

(山本理事長) もともと、SRC造(鉄骨鉄筋コンクリート造)で考えていたのですが、構造の計算上で柱を鉄骨にして壁を鉄筋コンクリートにして、もともとは柱も鉄筋コンクリートで考えていましたが、壁は鉄筋コンクリートのまま、屋根もそのまま、柱だけ鉄骨に替えました。それは調査ボーリングをすると、地盤が弱い地盤でして、埋立て地盤の関係で設計の構造上でやむを得ずそのような形になったと聞いています。

(市 民) その構造ですが、S造で壁が鉄筋コンクリートということは型を組み込んで配筋して壁を構築するということですか。ということは、SRC造に

近い構造ということですか。鉄骨支柱が無いと基礎が弱いので持たないという判断ですか。するとSRC造ではありませんか。

(磯) 建築確認上はSRC造ではありません。

(市 民) それはなぜですか。

(椎 原) 外壁をコンクリートにします。これは構造的なことですが出来るだけ軽い建物にしたいということで、鉄筋コンクリートだと、基礎も大きくなり、土砂の搬出等も多くなりますので、基礎を小さくして土砂の搬出を少なくしようとS造にしました。

(市 民) SRC造ではなくて、S造であれば柱は独立構造ですね。

面剛性はどのように確保されるのですか。鉄筋コンクリートの壁はS造の場合は作られないと思います。中空セメント板ではないのですか。

(椎 原) 鉄筋コンクリートという構造にしています。

(市 民) 外壁の鉄筋コンクリートの壁は鉄骨の柱とどのように繋がるのですか。

(椎 原) 繋がるようにします。

(市 民) そのような構造を聞いたことがないので、基本的に問題がないのですか。

例えば、子どもがそこで過ごして、一時的には災害時の避難場所になると思いますので、液状化対策も含めてしっかりとした構造をRC造でされると認識していました。それがS造に変わり、軽量化したいことは分かりますが壁を鉄筋コンクリートにすると、それほど大きな軽量化にはならないと思います。スラブはどうされますか。

(椎 原) 平屋ですので、1階の床基礎だけです。天井は屋根なので鉄骨で加工しています。外壁をALC等のパネルにすると風に弱いのでできるだけ強いものでしたいということでした。

(市 民) 平屋の構造の柱のピッチはどれくらいか。

(椎 原) ピッチは8mか9mです。

(市 民) 8mか9mの柱の間を鉄筋コンクリートの壁で繋ぐのですか。そのジョイントはどうされるのですか。鉄骨とのつなぎは、鉄筋コンクリート側は配筋しかでません。

(椎 原) 鉄筋で繋がります。

(市 民) よく分かりません。

(山本理事長) 私が理解していることは、もともと、柱が鉄筋コンクリートで屋根はもともと鉄骨の屋根でした。ですが、柱の部分だけが鉄筋コンクリートから鉄骨に変わりました。なぜ変わったのかは、RC造の場合は柱が太くなる分、重力があるのでその分基礎が大きくなりすぎるので、構造計算上どうしたらいいのかという部分で、柱を鉄骨にしたらその分小さくなる。そうすると基礎も軽くなるということです。

(市 民) 強度が確保されているのか心配です。

我々はRC造の建物が平屋で建つという非常に強固なものができるという認識で迎えています。これがS造になり壁が鉄筋コンクリートということが強度的にどうなのか分かりません。通常はALCパネルか中空セメント板で壁を構成して、内断熱して内装することが普通の流れです。

(椎 原) 構造計算に基づいて行います。

(市 民) 説明になっていません。住民側はRC造で強固なものができるのにそれに匹敵する強固なものができるのか分かりません。もう少し詳しく説明できませんか。理解できないことがS造の場合、柱はH鋼で、梁もH鋼です。H鋼と鉄筋コンクリートの壁をどうつなぎますか。鉄筋コンクリートの壁も自立させるのですか。ジョイント方法についてお伺いします。配筋してできあがりますが、1つ1つの壁が柱間と梁間で独立構造になると思いますが、それをどのように接続して強度を確保されるのですか。

(椎 原) 鉄骨から鉄筋を溶接して出します。それが壁の配筋とジョイントします。

(山本理事長) 今回については埋立地でボーリング調査をした結果こうになりましたが、構造についての建築確認については新耐震基準があります。

(市 民) ひずみが生じて強い地震の時に本当に大丈夫なのか、一般的に見た時に不安です。

(山本理事長) 法人内部でもそのような意見がでまして、それについての説明も構造事務所から説明を受けています。今回の構造設計は浅野建築設計事務所という大きな事務所に関わってもらっています。

(市 民) 構造について詳しい内容を図面で提示してください。杭はどれくらい打ちますか。

(山本理事長) 杭は打ちません。

(市 民) 液状化対策はどうされますか。

(山本理事長) 液状化についても試験をしています。

(市 民) どれくらい相当ですか。今ここの地盤で住宅を建てた場合5トン基礎です。震度5で著しく液状化が起きないという前提で購入しています。住宅だろうが液状化はおきますので、RC造だと杭は打たないといけないと思っていましたので、液状化対策はされるのだと思っていました。よくよく考えていただきたいことは、様々なことが反映されて、これ以上この場で専門的な話をしてもしかたがないですが、進むだろうと思って来ています。反映されていれば、何も言わずに帰ろうと思っていました。

S造、経路の問題、後からと認識していると思いますが、前もって説明会の資料をくださいと伝えてあります。そこで今のようなことを指摘して、そのような態度をとられると、法人は住民と共存して行えるのかと思って

しまいます。今日このような厳しい言い方をしていますが、S造についても変わりましたと申し伝えることは当然のことだと思います。

住民サイドに立って、市もそのように説明していて、誠意を持って説明できないのであれば不安を感じます。

(三井部長) お話しの行き違い等は無いようにしていきたいと思います。構造が変わることについては、より良くするためと説明を受けてしていますので、きちんと説明したいと思います。

(市 民) もう一度きちんと説明していただいて進めるということですか。明日から工事に入る工期です。

(三井部長) 説明会については今日と明日になりますので、きちんと工事をしていただきます。

(市 民) 納得いく説明をするということですね。経路についてはもう一度考えられませんか。この経路を見ていると浜風大橋から左折して深江浜に抜ける、深江浜から入った車両が浜風大橋南詰で右折して回ると信号があります。特段の問題はないと思います。その点について検討していただきたいということはおかねてから要望していますので、できる限りそのようにしていただけますか。鹿島道路さんは特別な事情があるのでしかたがありませんが、せめて、様々な業者が来られるので検討いただきたいです。

(林) 経路に関しましては、この状態で当初も考えていまして、一番交通がスムーズに行える経路を現地調査した上で判断しています。

(市 民) なぜこれを変更して欲しいかと言いますと、鹿島道路さんは進入時に西宮浜から進入し左折します。搬出時は北上して潮風大橋を右折します。そこにウォーターパークで多くの方が遊んでおり、基本的に普通の車がそこを右左折します。しかも総合公園の北駐車場に直進する車もあります。北から来た車も直進で危ないです。北駐車場からの右折もあります。信号機を要望していますが、住民としても危険な状況を感じています。

浜風大橋は信号機もあり、右左折の状況がシンプルです。そういったことを御理解いただいた上で検討いただけないかお願いしていますが、できませんか。

(林) 病院の前や交差点を多く通行するよりも、こちらの方がご迷惑をかけないかと思った経路です。

(市 民) 住民が住んでいて、これだけ話が出て、鹿島道路さんとも詰めた話で日々通行して理解しています。

病院や商業施設もありますが、そこは信号が整っています。病院自体は多くの方が通行するエリアではありませんので、潮風大橋が非常に交通の危険な個所になり、交通量が多い状況です。住民が感じているにもかかわらず

らず、こっちの方が安全だと思われていて検討さえもされないことは遺憾です。

(山本理事長) 工事搬出の経路については、バッティングするので危ないから別の橋を
通ってはどうかという提案だったと思います。業者には鹿島道路さんとバ
ッティングするのであれば工期もふまえて打合せしてほしいとお願いし
て、鹿島道路さんのところに行きました。7月末で終わるということだっ
たので8月に搬出するのであればバッティングしないということでした。

(市 民) 終わると言っても、80台から100台が終わるだけで、整地するた
めに、車が入ります。もう一つ、鹿島道路さんがいようがいまいが土日でも
危険です。

(山本理事長) 鹿島道路さんが検討した結果がこのルートですので、これから始まる工
事を止めてまで再度検討することは難しいです。鹿島道路さんは1日80
台から100台ですが、私たちの工事は総延べ数で200台、2週間3週
間で最大200台です。1日10台から15台なので、10分の1ぐらい
の搬出になります。

(市 民) 工事を止めろとは言っていない。工事が始まってからでも、住民の意
見があるので一週間ぐらいの間で検討してくださいと言っているのです。
鹿島道路さんが動こうか動かまいが危険なエリアで通学路、散策路、ジ
ョギング路、自転車路で利用していても危険です。

(山本理事長) 認定こども園が開園しても、新しい保護者が来て車の台数が多くなり、
迂回するということにもなりませんか。

(市 民) そのために信号機を設置しないと危険なので一緒にしましょうと前から
言っています。

なぜここにこだわっているのかと言いますと、ここで認定こども園を運営
して、地域に配慮しないといけない立ち位置です。厚生労働省含めて、国・
県・市からも地元と相談して合意の上で解決するという、経路の問題の要
望1つ取っても検討にもあたらないという態度がどうなのでしょう。

民設民営をするにしても、一緒に市としても責任を持って行うという話
だったのに、そういうふうになっていません。

経路的に松井建設さんの工程や経費等に影響を与える内容とは感じま
せん。鹿島道路さんにも個別に対応しましたが、鹿島道路さんを同じよう
にすると経費的に大変になるので、安全に配慮してくださいと言いました。
認定こども園もミズノさんも工事が始まるので連携して工事してくださ
いと。今の経路図を見ると深江浜側に出るので検討していただけないので
しょうか。

何か物事が起きても聞く耳を持たないじゃないですか。

(山本理事長) 聞く耳を持たないということではなく、私どももこの認定こども園を造るにあたり、地域の方々とともにしていきたいという気持ちを持っています。

要望については、例えば経路を替えることについても当然交通面や様々なことを考えて計画しており、今日の説明会のこの場で言われても持ち帰って実際の経路を見て、通ってみて、その上で判断しないといけません。

(市民) そのように回答してください。別に工事を止めてまで経路のことを検討する必要もありません。

とりあえず始まるので、雑草抜いて更地にするので、そのスパンの中で検討して、変えられるべき時に替えてはどうですか。

(山本理事長) 意見が出たという中で経路も見て、その上でそれでも今の経路がいいのかという判断をさせていただきます。それでよろしいでしょうか。

(市民) 構造のことについては1回教えてください。

市民に対して、RC造で造ると言っていたのに、S造に変わりました。そのことを説明会の当初に変えましたという一言と、合意を得ることが説明会の趣旨です。それを全く飛ばして質問があるまでS造と書いているだけでした。そこの趣旨を考えた場合、住民側にどのような建物でRC造と変わらないということや、室内の騒音も外部に出ないとか災害時にも強い構造等、僕らはRC造なのでクリアできているだろうという想定を持っていましたがS造なので、モールみたいな建物です。

それを今、説明してくださいということではなく、どのようにするのか住民に知らせてください、公開してくださいということです。

(三井部長) 工期の関係がありますので、検討してより良くするためだと聞いています。もう一度集まってということは時間もありませんので、各自治会に説明ということでいかがでしょうか。

(市民) 耐震についてもどのような評価か、RC造であってもS造であっても同等なのかということが分かればいいですが、液状化の対策が綿密にされていないことが残念です。RC造で建てるのであれば、杭打ちは必要だったのでないかと思います。軽いから液状化が起きても傾きにくいなど、基礎で傾きにくい構造など検討されているのですか。

(椎原) それは構造の方で説明させていただき、資料を提出します。

(市民) 今日来て、なぜこのような説明なのか不快に思っているだけです。そこについては信頼関係を持って強くしてほしいです。運営のことも決まれば説明してほしいと要望していますので、よろしくお願いします。

(三井部長) 構造の件については各自治会に調整して説明させていただきます。

(市 民) 事前に説明も受けていまして、自治会の要望としてお伝えしている点があります。その点について、この場で再確認です。南浜町2街区は近くに建設されるということで施設ができるということは歓迎という意見が多いです。工事中のトラブルが運営後にも糸を引くことがありますので、工事中もマナーとモラルを指導していただくように末端までお願いします。運営後は保護者の送迎時に車を駐車場に誘導するなど、ルールを守っていただくように指導してもらいたいということです。

2点目は交差点に近いこととバス停の近くに搬出口がありますので、工事中も運営後も誘導員を付けてきちんと進めてほしいです。

あと、作業時間については、資料に書いているように日曜日の作業はしないでほしいということと、作業開始は8時でもいいですが、騒音の作業については8時30分からにしてほしいということです。

もう1点は掘削工事や車両の出入りの際に粉塵が風によって住宅地にくるので、今の計画では仮囲いが2mですが、3mにしてほしいという要望があります。

そのような要望が出ましたということで事前の説明では伝えていまして、この場でも意見があったことを発表させていただきます。

(市 民) 歓迎はしていません。やむを得ず了承しています。

(林) マナーとモラルについてですが、月に1回、松井建設の協力会があり、協力会の中で業者を選定して、下請け会社になりますが、下請け会社を集めて説明をしています。何を説明するのかですが、この工事はこのような内容で、この地域のルールはこうだということを説明会の資料を基にマナーを共有しながら工事を行っています。

バス停の近くで誘導員を付けて作業をすることについてですが、ゲートの近くに警備会社の者を1人配置して、安全誘導をしていきたいと思えます。車両が多い場合には周囲に増員することを事前に説明しています。

作業の時間ですが、8時から朝礼を行います。その後重機を動かしますが、前回も指導いただきまして、重機に関しましては8時30分から始動します。

粉塵の対策についてですが、散水等で粉塵対策をしようと考えていますが、2mの仮囲いということで白い板を貼る予定ですが、3mという意見があり、現在3mの仮囲いを前面道路側に考えています。

(市 民) この経路図だと右折進入だと思いますが、台数が多い時に右折進入車両が車両待ちにならないか心配です。

(林) 車両の進入に関しましてですが、連続で入ってこないように離れた場所

で待機していて、無線で呼び込みます。例えば3、4台連続で入る場合、道路に待機するのではないかということですが、絶対しないとは言いきれませんので、2台連続で来ることもあるかもしれませんが、基本的に多いのは生コンとダンプが多いです。それも時間で言うと4台前後なので連続で呼び込むことは無い予定です。ですので、基本的には呼びこまないようにすると待機して並ぶことは無いと考えています。

(市 民) 待機場所はどこですか。

(林) ダンプも土を放る会社も決まっています。土をどこに持っていくのかということが決まっています。

生コンに関しましてもプラントが決まらなるとどこからの出発になるのか分かりません。調整しないといけないので、即答できません。

(市 民) 一般的にどれくらい離れたところに待機場所を作られますか。

(林) プラントが近いとプラントで待機です。プラントも各地にあるので、まだこの地域で、どのあたりを待機場所にするのか調整をしていません。

(市 民) そこをまたお願いします。家の前なので待たれるとしんどいです。

(市 民) 既に入札をされて工事に入ろうという時にこのようなことを言うことはずれているかもしれませんが、私はこの津波想定地域に幼い子の認定こども園を造ることに危惧しています。

なぜ、この根本的な見直しをされなかったのかということについて、今更かもしれませんが、お伺いしたいです。万が一の時に責任を持って命を守っていけるのか、どう考えているのかについてもお伺いしたいと思います。

(三井部長) 今回、南芦屋浜地区の教育用地の中で認定こども園を整備しますが、南芦屋浜地区で0歳から5歳で350人前後の子がいます。それを考えるとこの地区の中で就学前施設は是非とも確保したいということがあります。

場所等については候補でありました教育用地の中ですので、ただ、海に近いということもありますので、津波等の対策については法人で訓練もしてもらいます。市としては水平避難と考えていますが逃げ遅れ等もありますので、そこについては今後も工事だけではなく運営についても訓練等も行いながらしていただき、認定こども園の運営をしていただきたいと思います。

(市 民) 地区の中でと言いましたが、地区といっても広いです。もっとビーチのそばではなく、少しでも安全なところに場所を変えろということについて十分な検討をされましたか。

(三井部長) 認定こども園につきましては市が誘致をしていきますので、市が持って

いる土地につきましてはこの教育用地のところですので、検討した中でここになりました。

(市民) 検討したということは他の土地がどうか等、具体的な検討をされたのかどうかです。口だけで言われていて、場所については全然検討せずにそのまま進んでいるのではないかと思います。本当に万が一の時にどう責任が取れるのかということまで検討されたのかお伺いします。

(三井部長) この度の誘致に対しましては他の土地は検討していません。教育用地の活用の中で元々幼稚園と小学校ということでしたが何とか幼稚園、ただ、幼稚園単体で整備をするのではなく、保育所部分もある認定こども園を整備したいということです。南芦屋浜地区を総ざらいしたわけではありません。教育用地の中でのことです。

(市民) それだとしてないことと同じではありませんか。子どもの命を預かる、訓練や対策のことを言っていました、若い子どもです。大人が十分に配置されて、命を守れるのかどうかということも含めて口だけでもともの場所から一步も変えないということは後に悔いを残すのではないのでしょうか。

きちんと指摘をして、まだ、建てていないので、安全を確保していただきたいということをお願いしたいと思います。

(市民) 津波に関しては5 m相当の護岸があり、津波の想定が3.7 mなので安全だと言うことで選定されたと思っています。流動化で護岸が崩れるとその限りではありませんが、110分程度の避難の余裕がありますので、避難計画をしっかり組んでほしいです。

今は高潮被害が可能性としてゼロではありません。平成23年の大阪府高潮被害協議会というところでは、この地域はスーパー台風が直撃した場合は浸水してしまう地域とされました。

そのようなことは事前に予測されて対応されると思いますが、兵庫県はそれをふまえて来年度に高潮被害想定を出すと聞いています。ですので、そのような対策やどのように避難するのか明確な計画を立てて、対応してあげてください。

(山本理事長) 今の意見を承りまして、今回ここで公募の話があり、応募しました。

治山治水は日本国土全体に渡り、50年で考えるのか100年で考えるのかというサイクルもあると思いますが、昨今の異常気象を考えるとスーパー猛暑、スーパー台風など考えられますので、今までの常識とは違うと考えて行うことは大切な乳幼児を預かる者として宿命だと思います。

茨木市に5つの施設がありますが、おとのは学園という施設は淀川の水位の下になるので堤防が決壊すると水が溜まる地域で近郊緑地になって

おりまして、田んぼが治水を吸収するところに園舎を建てています。ファームがありまして、決壊した時にどうしようかという中で、昔であれば、決壊したところの家々には小さい木造の舟があり、それを出して練習するということがあったと思います。

今回、芦屋で話があった時に当然、海拔の問題、水平避難、垂直避難の問題様々にありましたが、一番は啓発したり啓蒙したり訓練したり、災害は忘れた頃にやってくるということがありますので、そういう思いを意識として持って、何かあった時に大切な乳幼児を守るためには、災害にかかわらず、不審者等様々なことが想定されます。

今回たまたま海の際ですので、高潮や津波のことを聞きましたが、この場所は人工的に作ったビーチがあります。沖縄の海岸沿いにある保育所を訪問したりしますが、やはり、天然ビーチは岩肌があり、子どもが入れるようなところが少ない場所です。でも、今回は人工的なビーチになっているので、子どもたちが遊ぶ程度でしたら十分に整備された場所だと思います。

逆に確かに津波や高潮等安全対策はしないといけませんが、芦屋で生まれ育った子はまたそこに帰ってくると思います。この環境をしっかり謳歌して楽しんで良き思い出を作って、また、この地域に帰ってくるができるようにすることが我々保育者の勤めだと思います。

災害等とは隣り合わせになると言われたらそれまでですが、この環境は子どもにとってはかけがえのない環境になる部分があると思います。

茨木の子どもたちも芦屋のこの地である風景あの海で遊べたらいい子ども時代の思い出になるのではないかと思いますし、芦屋の子どもたちも茨木で様々な経験をして相互連携をして、芦屋でできたことがとってもいいことにつながる第一歩になるのではないかと信じてやってまいりたいと思います。

至らないことや工事でも紙で表せないこともあります。意見があれば言っていていただいて、できることは対応したいと思います。運営に関しましても、できて終わりではなく、これから始まりますので、至らない事や予期せぬことは前向きに真摯に勉強する所存ですのでよろしくお願いします。

津波の話聞いて、本当に小さい子のことを思って言っているのだということが心打たれるような気持ちで聞いていましたが、この園を待っている人もいます。だから、進めてしまおうということではありませんが、その意見を十二分に心に刻んで安心安全は職員一同担保してまいりますので、よろしくお願いいたします。

(磯) ご意見を賜りまして、反映できることは工事についてはしていきたいと

思います。若干資料については修正があります。修正したものを自治会長さんに提出させていただきたいと思います。

日曜日の夜の忙しい中お集まりいただきましてありがとうございました。